

稲作だより 第6号 ～ワキ・カメムシ対策編～

ワキ発生に注意！！速やかに水交換を

分けつ期の水管理の基本は3 cm程度の浅水で、日中、止め水にすることです。しかし、雨が少なく気温が高くと、ワキや表層剥離の発生がみられます。放っておくと生育に影響するので、水交換や落水で根の健全化と分けつ促進を図りましょう。

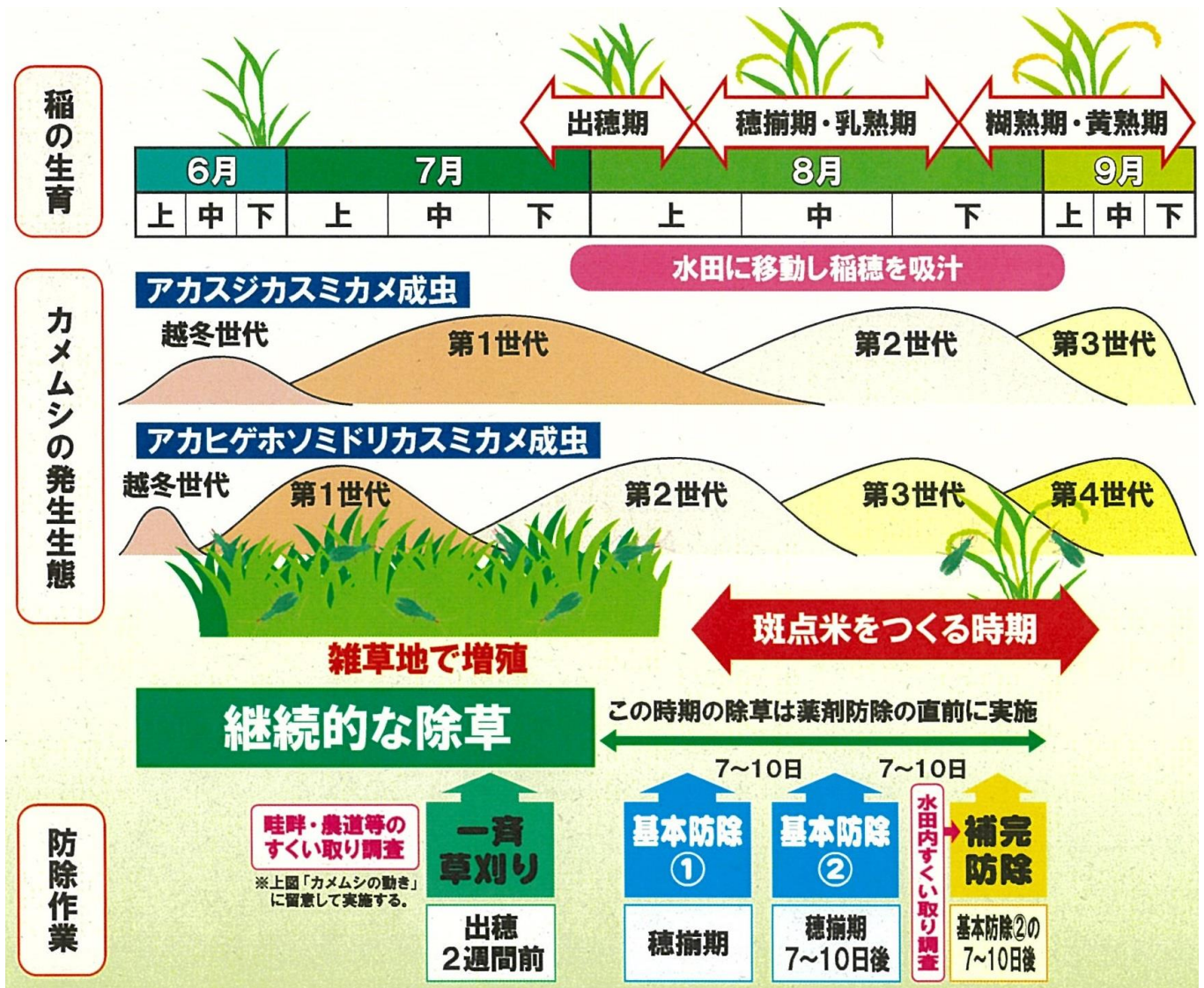
1. ワキ・表層剥離対策

除草剤散布後7日間は止め水にします。その後、1～2日程度落水しても、除草剤の処理層は壊れません。ワキが発生したら迷わず水交換または落水してください。中期除草剤を使用する場合は、水交換や落水してから散布しましょう。

ワキの程度		生育への影響	対策
軽	水田に足を踏み込むと気泡が発生	根の活力低下	水交換
中	水田に足を踏みこむと盛んに気泡が発生	根張りが不良	水交換または 夜間落水
重度	晴天時に自然に気泡が発生 足を踏み込むと、著しく気泡が発生、悪臭がする	根の伸長阻害 葉の黄化、 生育停滞	夜間落水または 曇天日に2～3日 間落水

2. 斑点米カメムシ類対策は今から行いましょう！

気温が高くなるとカメムシの活動は活発になり、エサとなるイネ科雑草等で増殖します。農道・畦畔の草刈りや雑草地の耕うん等、地域ぐるみで対策を徹底しましょう。6月から草刈りを行って、越冬世代の増殖を減らし、次世代以降のカメムシの増殖を抑えましょう。草刈りは今の時期から定期的に行い、雑草を伸ばさないようにしましょう。



農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給行いながら、無理のない作業を！